

## 令和7年度森林吸収源インベントリ情報整備事業九州ブロック現地講習会報告

開催日：2025年6月11日（水）

時間：8時30分～17時00分

場所：ID：430220（熊本県山鹿市）

受講者：（株）九州自然環境研究所（10名）講師：稻垣昌宏（責任者）、酒井佳美、森大喜（森林総研九州支所）、今矢明宏、橋本昌司（森林総研立地環境研究領域）

場所の概要：常緑広葉樹林

講習会概要：枯死木調査は2班に分かれて実施し、土壌調査は受講者2名ずつの4班に分かれて行った。調査は、基本的に経験豊富な受講者が経験の浅い受講者を指導し、必要に応じて講師が適宜コメントを加える形式で進めた。特に初心者に対しては、断面整形の手順や土壌・円筒サンプルの採取方法について、講師が丁寧に説明を行った。

指摘事項：

- ・土壌断面の作成の向きは斜面の傾斜方向に向かって山側に作成する。
- ・堆積有機物は、直径5cm以上の倒木については採取しない。ちょうど5cm前後に見えるものについては、採取したかどうかメモするとありがたい（写真1）。
- ・円筒は、最初から1cmの位置に挿入するよりも、地表から挿入した後に上部1cmを削り取る方が、作業の正確性と効率の両面で優れている（写真2）。
- ・断面写真は、堆積有機物採取枠内の堆積状況が映り込むように撮影する（写真6）。

全体講評：調査員は非常に丁寧に作業を進めており、高く評価される。一方で、初心者については調査道具の取り扱いに習熟することで、今後の調査精度の向上が期待される。



写真 1 : 枝と紛らわしい倒木



写真 2 : 講師の指導で上部 1 cm を削った円筒



写真 3 : 土壌断面 (E 地点)



写真 4 : 土壌断面 (S 地点)



写真 5 : 土壌断面 (W 地点)



写真 6 : 土壌断面 (N 地点)